

## プロテオーム解析利用手引き

(ver. 1)

### 仕様

- ・ LTQ-Orbitrap XL- HTC-PAL- Paradigm MS4 system
- ・ Q-TOF Ultima- NanoFrontier nLC system

### 利用する上での注意点

- ・ 初めて分析を行う依頼者は必ず NAIST にてサンプル調製方法の指導を受けてください。このとき分析に関して「利用手引き」以外の注意事項を詳細に伝えるため、過去に質量分析の経験があったとしても必ず一度はサンプル調製方法の指導を受けていただきます。
- ・ 指定した以外の方法で調製したサンプルは一切分析しませんのでご注意ください。特に指定外の方法でカラム詰まりを起こすようなサンプルを送付した場合はカラムおよび関係する消耗品代を請求させていただき、その後の分析は行わないこととします。
- ・ SDS-PAGE ゲルを用いる場合は必ずプレキャストゲルを購入すること。プレキャストゲルを用いない分析は原則行いません。
- ・ 分析サンプルの反復は一度には行ないません。必ず一度分析をした後、その結果を担当者と議論した上で、再分析を行うかどうかを決定します。
- ・ 本依頼でお受けできない分析について：リン酸化以外の翻訳後修飾解析や de novo sequencing は分析対象としません。また、データベースのない生物種を用いたプロテオーム解析はお受けできないことがありますので、ご希望の方はまずご相談ください。
- ・ 本利用規約は年度ごとに変更することがあるので、あらかじめご了解ください。

### 利用の流れ

- ① 事前打合せ
- ② 申請書の提出、審査
- ③ NAIST にて必ずサンプル調製方法の指導を受ける（初めて質量分析を行う依頼者のみ）
- ④ 2回目以降は、依頼者の研究室または NAIST にてサンプル調製を行う
- ⑤ 質量分析は NAIST 担当者が行い、データベース検索結果をメールにて送付する
- ⑥ 再分析を希望の場合は、必ず最初の結果について担当者と十分議論した後に計画する

### 参考論文

Fukao et al., Plant Physiology **155**, 1893 - 1907 (2011)

### **費用負担**

分析に関わる消耗品はすべて依頼者負担とする。ただしここでの消耗品はサンプル調製に関わる物品を指しており、液体クロマトグラフィーや質量分析計に関わる消耗品は含まれない。分析数が多い場合は要相談。

### **Authorship**

研究成果を発表する際の共著者については、お問い合わせください。  
また Acknowledgments 等に以下の記載をお願いします。

「This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.」

### **連絡先**

fukao@bs.naist.jp 深尾陽一郎（植物グローバル教育プロジェクト）

m-tasaka@bs.naist.jp 田坂昌生（植物グローバル教育プロジェクト）